

普通じゃないめっき会社を目指します。



事故をおこすその前に！ 土壌汚染問題に打ち勝つ めっき事業経営とは

取り返しのつかない事故の前に

あれは3年前（H15年）2月5日、弊社工場にて廃液貯蔵タンクに穴が開き、廃液を周辺地域へ噴出させる大事故を起こした経験があります。夕方のテレビのニュースで大きく報道されたほどで、社長自身これで会社が終わってしまうかもしれないと思ったほどの事故でした。

環境保全局や兵庫県警などの必死の対応により、なんとか事故を処理することができました。また、社長の迅速な判断と従業員の誠心誠意の対応もあり、早速、同平成15年12月には本社工場へ硬質クロムめっき・無電解ニッケルめっき・アルマイト処理施設が新設・移転集約することができたのです。

自社工場の敷地における土壌汚染問題懸念

平成15年2月に土壌汚染対策法が施行されたことを受けて、近年、土壌汚染問題に対する社会の関心が高まり、土壌汚染問題への適切な対応が企業経営上の大きな課題となってきました。めっき事業者からも自社工場の敷地における土壌汚染問題を懸念する声が多く聞かれるようになってきました。

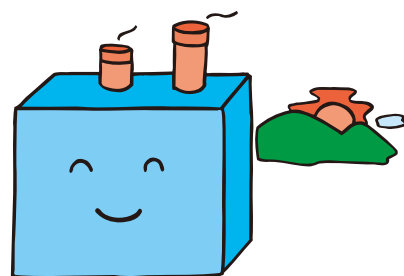
めっき事業者の中には土壌汚染対策法を非常に不安視している方も多いようですが、土壌汚染対策法の目的は、一義的には「人の健康被害を防ぐこと」にあり、「土壌汚染の浄化」ではありません。そのため、「人に対する健康被害の恐れ」がなければ、土壌汚染の浄化を求められるわけではありません。

しかしながら、めっき事業者は、多くの有害物質を使用することから、有害物質を使用しない事業者に比べて、土壌汚染問題に直面する可能性は大きく、時には事業の継続に支障をきたす可能性もあるため、土壌汚染によるリスクを正確に認識し、適切に対応していくことが求められます。



めっき業界にかかる期待

なお、土壌汚染問題は、めっき業以外にも、有害物質を利用する全ての産業が直面する可能性のある経営上の大きな課題であるにも関わらず、経営環境が厳しい中では適切な対応を取ることが難しい性格を持つ問題です。このような中、古くから水質汚濁を始めとする公害の防止に取り組んできためっき業界では、その過程で蓄積したノウハウを活用することにより、土壌汚染対策の面でも先導的な役割を果たすことが期待されます。



土壤汚染問題に打ち勝つめっき事業経営とは

POINT! 土壤汚染問題の特徴は、「ストック型の汚染」という点です

土壤は、手を加えなければ、大気や水のように移動しないため、過去に「有害物質」という認識のないまま使用し、土壤中にとどまっていた物質が今後検出されて土壤汚染が判明する可能性があります。

このため、現在、先進的な環境対策を実施しているめっき事業者の工場であっても、地下浸透の禁止される（水質汚濁防止法の施行）以前に操業を開始しているのであれば、「土壤汚染は絶対にない」とは言い切れない状況にあります。

POINT! めっき事業者は、規制を遵守することに加えて、土壤汚染に係る関係者との間に発生する様々な問題を考慮する必要があります！

土壤汚染問題の難しいところは、土壤汚染対策法や条例などの規制を遵守することに加えて、関係者との間に発生する様々な問題を考慮しなければならないことです。



<地域社会に係る関係者>

【行政】

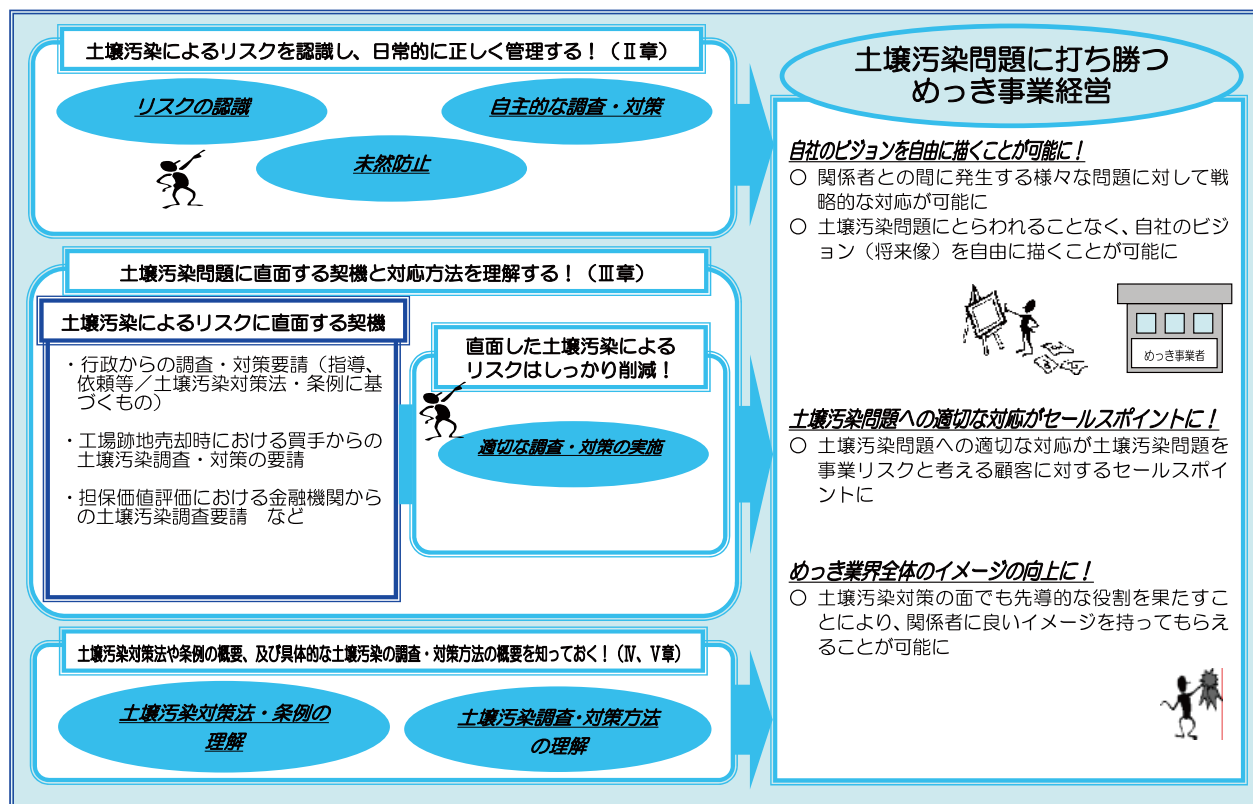
土壤汚染問題に関して、行政とは、土壤汚染対策法及び自治体条例などに基づく命令権限のある地方公共団体長（都道府県、政令市、中核市など）が該当します。行政は、めっき事業者に対して、土壤汚染による人の健康被害のおそれが懸念される場合、土壤汚染対策法や条例に基づく調査や措置を命令したり、適切な対応をするよう指導・要請を行う可能性があります。

【近隣住民】

土壤汚染対策法の施行を受けて、土壤汚染問題に対する関心を持つ人が増えてきたこともあり、土壤汚染に伴う健康被害や地価下落などを懸念する近隣住民が増えていく可能性があります。

めっき事業者の対応によっては、近隣住民から土壤汚染問題に対する適切な対応が求められる可能性があるほか、土壤汚染問題への懸念が大きいにも関わらず、提供される情報が不足している一部の近隣住民が原因となつて、風評被害を受ける可能性もあります。

土壤汚染問題に打ち勝つために



土壌汚染によるリスクは、待っていても無くなるものではないため、適切な対応をしなければ、事業の継続に支障を来す可能性があることは確かです。このため、土壌汚染問題に真正面から向き合い、これに打ち勝っていく必要があります。では、土壌汚染問題に打ち勝つには、一体どうしたらよいのでしょうか

POINT！ 土壌汚染問題に打ち勝つために①
～土壌汚染によるリスクを認識し、日常的に正しく管理する（土壌汚染によるリスクの定量化とコントロール）！～

まずは、事業活動を振り返り、自社の抱える土壌汚染によるリスクを認識し、日常的に正しく管理していくことが重要です。その上で、今後の事業活動において土壌汚染を発生させない工夫（未然防止対策）や過去に発生した可能性のある土壌汚染に対する自主的な調査や対策を講じることが求められます。

POINT！ 土壌汚染問題に打ち勝つために②
～土壌汚染問題に直面する契機と対応方法を理解する！～

また、めっき事業を展開する中で様々な契機で土壌汚染問題に直面する可能性があるため、日ごろから土壌汚染問題に対する正しい知識を持ち、土壌汚染問題に直面する契機と対応方法について正確に理解しておくことも重要です。そして、いざ土壌汚染問題に直面した場合には、自らの敷地の汚染状況等を的確に把握した上で、その土壌汚染によるリスクを削減するのに最適な対応方法を主体的に実施していくことが求められます。

POINT！ 土壌汚染問題に打ち勝つために③
～土壌汚染対策法や条例の概要、及び具体的な土壌汚染の調査・対策方法の概要を知っておく！～

法律・条例や調査・対策方法についてある程度の知識をもっておくことも、めっき事業者が土壌汚染問題について正しく理解する上で重要なことです。土壌汚染対策法や条例で定められている事項を理解できれば、過剰な懸念を払拭することができますし、調査・対策方法は調査・対策実施に向けた心構えを準備するために必要な情報です。



このようにして土壌汚染問題に打ち勝つことができれば、関係者との間に発生する様々な問題に対して戦略的な対応が可能となるため、土壌汚染問題にとらわれることなく、自社のビジョン（将来像）を自由に描くことが可能となります。

土壌汚染問題への適切な対応（土壌汚染対策）がセールスポイントとなることも期待できます。電気めっき事業者の主要取引先である電気・電子機器メーカーや機械メーカーにとって、土壌汚染問題は事業上のリスクとなるため、適切な土壌汚染対策を行うことは、新規顧客の開拓などにつながる可能性があります。

さらに、めっき業界全体のイメージ向上につながることも期待されます。地域社会の一員としてめっき事業を展開していくには、近隣住民と良好な関係を築く必要があります。古くから水質汚濁を始めとする公害の防止に取り組んできためっき業界が土壌汚染対策の面でも先導的な役割を果たすことができれば、「良いイメージ」を関係者に持ってもらえる可能性があります。

Customer Interview ～お客様インタビュー～

KOBELCO 株式会社 神戸製鋼所 様

神戸製鋼所様とは、もう20年以上の取引になります。正直、始めの頃は、他のベンダーさんが受け切れなかった分をご依頼いただいているような状況でした。それが、だんだん仕事にも信頼いただけるようになったのか、数年前に阿江様から「どうですか？これらの図面を一度見積提出されますか？」と言葉を頂きました。それ以降、めっきベンダーが十数社ある中で現在3番目までお取引いただけるようになりました。また、福田様からは、機械加工を含むめっき完成までの部品も頂いております。

これからは品質及び取引額でも価格でも一番になれるように頑張り、さらなる技術の向上と納期厳守をしていきます。



機械エンジニアリングカンパニー

高砂機械センター 資材部

(左) 福田 昌次様 (右) 阿江 崇 様

最近のちょっといいお話

先日、地域の革製品加工工場のA社長が突然弊社にやって来られました。革製品を作る際のシェービングロールを持ち込み、このように言い出したのです。

「おたくで、これのめっきをお願いしたいんだけど。これが止まってしまったら、うちの会社は大変なことになってしまうんや・・・」

見ると、表面はぼろぼろになってました。その相談を受けた現場担当者は、すぐに製造部の課長へ相談。課長は製造本部長にも取り計らって、何とか詰まっていた工程の一部を確保することができ、至急加工に入りました。

半日の特急加工で仕上げた完成品を見たとき、A社長の驚いた顔がそこにはありました。

「ここまできれいに、丁寧にやってもらえると・・・ 本当に助かりました。ありがとうございます。」

フジコーは、表面加工を求めるすべての会社の人たちに対して、少しでも力になりたいと考えています。これからも、地域に根ざした経営を心掛けていきます。



鏡面ロール仕上げ

今月の勉強になったお話 【仕事に責任と誇りを持って】

新鮮な気持ちの当社新入社員さんの朝礼での一言。「仕事でもっともっとそれぞれに声を出していきませんか？」そこで課長が、「声を出すことにより、間違いやミスも減らすことができますし、手のあいた人が、他の人を手伝うことも出来る。今以上にどんどん声を出して仕事をしていこう。」と言いました。

1つの職場には、仕事に慣れている人と新しく入社した方と色々です。全員がレベルアップし、チームワーク良く仕事をするのが、お客様への満足度UPへと繋がります。職場内の雰囲気作りの重要さを改めて確認させていただきました。今後も「学び・遊び・集い、本物を提供するフジコー」として雰囲気の良い職場環境を創り出してまいります。



【地球環境への取り組み】

21世紀に入り、地球環境問題がますます深刻さを増しています。「企業の利益を地域の環境よりも優先する」「環境問題へのコストはかけられない」そんな企業がまだまだ多く存在するのも事実です。

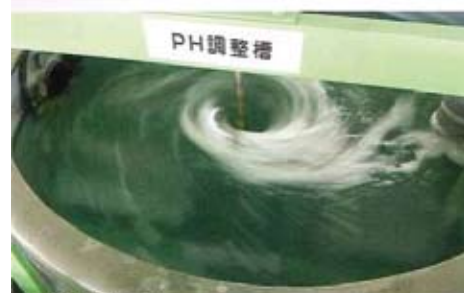
フジコーは、会社として、組織として、地球の一員であることを認識し、かけがえのない地球、そして地域への環境問題も積極的に貢献できるように努力してまいります。



■全自動排水処理装置全景



■沈殿槽



■PH調整槽



■全自動フィルタープレス



■沈殿槽

【環境方針】

1. 当社は、各種めっき及び機械加工の生産活動において環境に与える影響を考慮し、環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善を図ります。
2. 環境に関する法規制などを順守し、汚染の予防に努めます。
3. エネルギーの有効活用、廃棄物の分別管理、及び科学物質の適正管理を行います。
4. この環境方針は当社の為に働く全ての人に周知し、一般に公開します。

Fujiko-History

I 戦争の最中での就職から そして企業へ

藤井幸四郎は、1916年（大正5年）兵庫県上郡（かみごおり）の農家の7人兄弟の末っ子として生まれた。

性格は、親・兄弟から言われたことはキチンと守る素直な少年であった。

当時の田舎では、中学を卒業すると就職するのが当たり前の状況であった。しかし、珍しく幸四郎は、就職せず、親に進学したいと無理を言ったのである。

農業高校へ進学した幸四郎は、鳥・豚をどうやったら丸々太らせることができるのだろうか？どのような肥料を使ったら農作物の収穫量が増えるのだろうか？など毎日が発見と興奮の連続であった。例えば、肥料の3大要素である、チッ소는葉や枝等に、リンは実や花に、カリは実や花や根によいなどを勉強することによりドンドン化学の魅力に惹かれていくのである。

高校を卒業すると甲種合格、赤紙一枚で召集され、シナの旅順に派兵された。

帰国後、川崎航空機（現在の川崎重工）で飛行機のピストンシリンダの浸炭焼入れ防止のための銅メッキ加工工程に携わることになる。太平洋戦争の最中、ミッドウェー海戦の年、神戸市須磨海岸にて1942年（昭和17年）10月21日正隆（まさたか：現社長）が生まれる。終戦を迎え、一家は故郷の上郡での生活を送ることになる。正隆は、小学校の頃からよくお手伝いをした。父の幸四郎は、田んぼを手伝う正隆に、「今はこうして苗を手で植えているが、その内、機械が勝手に植えてくれるようになるだろう。」とか、「この蒸しパンも今はこうして火を使って蒸しているが、自動的に調理してくれる器具（現：電子レンジ）ができるだろう。」などとこれからの世の中はいろいろなものが科学技術によって自動化されることをよく話していた。

そんな折、幸四郎は友人からまた町で働かないかと誘われ、石川島播磨社（IHI）の研究室でヤスリの目立て研究を行うことになる。（当時のヤスリは1度削れなくなると使い捨てられていたが、これを鍍金の技術を反対に利用する：品物をプラス電極にすることによりメッキ反応と逆反応が起こり、再生できるのではないかと考えられていた。）

ある日、研究に打ち込む幸四郎に上司である部長から「藤井君は、本格的にメッキ工場で働き、メッキの製造技術をさらに習得して独立すると良い。」と言われ、修業のため小さな町メッキ工場へ転職をした。そして数年の後、ついに姫路の地元建設業K社の課長と共同で、メッキ会社を立ち上げることになる。二人の会社は、主におもちゃの三輪車の装飾クロムメッキ加工を手掛ける。製造現場の管理と経営の2人3脚で順調に工場は稼働していた。そんなある時、そのK社から財務担当者を受け入れることになった。しかしこれが足並みを乱す原因となり上手く仕事を回せなくなってしまい、結局、喧嘩別れのような形となってしまった。

（夏号に続く）



編集部の一言



これからがんばりますので、よろしくお願ひいたします。

また、合報について、ご意見・ご要望がございましたらお気軽にこれらうください。

皆様に協力いただき、また顧客情報シートのおかげで合報第一号をだすことができました。また、今後、皆様のご意見を聞きたくアンケートを実施すると思ひますので協力よろしくお願ひいたします。

発行人：藤井茂樹
発行元：フジコー株式会社
〒670-0947 姫路市北条1080-2
ご意見・お問い合わせはこちらまで。
TEL 079-288-3800 FAX 079-288-3830
E-mail main@fujikome.net